

野津田町内会たより No.37

発行所 野津田町内会公民館
発行人 町内会長 青木勲
FAX 042-860-5368

令和5年6月10日

JR 東海が目指しているリニア中央新幹線について

野津田町内会の皆様に報告をさせていただきます。JR東海が品川一名古屋を結ぶ新幹線工事を進めています。自称リニアモーターカーです。現在小野路野津田公園の近くでトンネル工事を進めています。野津田町の皆様は停車駅が橋本になっています。ので、関西方面に行かれる方は便利になります。町内会宛に工事情報提供をいただいています。環境変化を充分配慮していただく様にお願いしています。近くに鶴見川の源泉があります。今後もJR東海様と連絡を取ります。町内会会長として責任を持って対応していきます。会員の皆様のご理解を受け賜り宜しくお願いします。

町内会長 青木 勲



2023年 野津田町内会「夏祭り(盆踊り)大会」開催決定！

8月5日(土) 18:00~21:00、野津田公民館にて「夏祭り(盆踊り)大会」を開催いたします。野津田町内会としては、2019年以來の開催です。コロナ禍前は、毎年開催されていた恒例のイベントが、実に4年ぶりに帰ってきます。踊りやパフォーマンスに加え、町内各団体にご協力いただき、出店も予定しています。

現在、協力団体、関係団体の方々とともに鋭意、準備中です。ご近所のみならず、ならびに各方面への告知をお願いするとともに、当日は、ぜひとも、お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。なお、詳細については、今後、回覧物やチラシ、HPなどを通じてお伝えさせていただきます。

副会長 石阪 督規

町内会のホームページをリニューアルしました。

インターネット検索エンジンで検索でき、各種様式が利用しやすくなりました。町内会からのお知らせや各種様式、町内会たよりをホームページから御覧頂けます。また、町内会へのご意見、ご要望等ございましたら、お問い合わせフォームをご利用ください。スマートフォンをご利用の方はQRコードでも御覧いただけます。会員のみならず、ぜひ一度、ホームページにお越し下さい。

旧サイト：<https://maachida-nozuta.jimdofree.com>

新サイト：<https://nozutamachi.com>



『地域トピックス』

川島自治会主催の「こども自転車教室」を実施しました。川島地区は、交通量の多い地区であり、通勤・通学や買い物等で自転車の利用も大変多く見受けられます。自転車の運転では、マナーの良くない利用者も散見されるため交通安全推進の観点から自転車運転者への講習が必要と考えました。今回は、当自治会の役員会でも対象者について議論を交わした結果、将来を担うこども達に交通ルールを学んでもらい、皆のお手本になってもらうように「こども自転車教室」を実施する事にしました。5月21日(日)川島自治会館において町田警察署交通課の指導と町田市役所市民生活課の協力により実施しました。当日は、天候にも恵まれ23名が参加し、交通安全の座学に続き自転車の運転方法や点検について説明を受けた後、参加者各々各種の走行体験をしました。

当日、「自転車保険の窓口」と「交通遺児募金箱」を設置致しました、募金額は5000円となりましたので関係団体に当自治会から寄付の手続きを致しました。

また、当自治会から抽選で子供用のヘルメット(5ヶ)を、ご協力頂いた町田警察署・町田市からは参加者全員に交通安全グッズの配布がありました。

終了後の講評では、警察署の担当者から自転車運転が上手くなりましたと報告がありました。また、参加者の親御さんからも良い体験が出来たと好評でした。

今後も機会があれば、自治会の方々が参加できる企画を考えたいと思います。

【階段橋走行】



【簡単な車両点検】



【景品：ヘルメット】

【白バイと少年】

【川島自治会館】

【交通ルールを学びます】



(川島自治会会長 中溝 一男)

まずは家まわりの備えから

近年地震による負傷者の原因を調査結果では家具類の転倒・落下・移動が約30%~50%となっています。また、2021年に国内で観測された震度1以上の地震回数は2406回に達し、うち6回が震度5以上でした。強い地震が来ても家具や家電の下敷きにならないように部屋の配置を考え、さらに転倒・落下・移動防止対策を行いましょう。

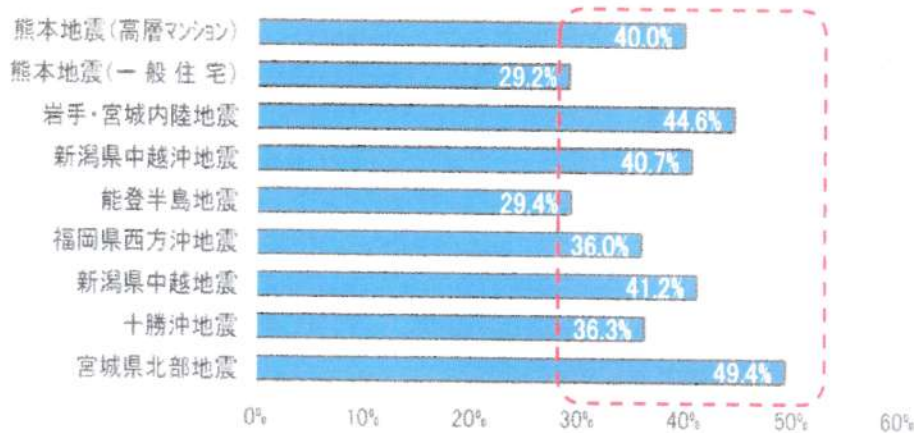
なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なの？

● 家具類の転倒・落下・移動による被害

地震により家具類の転倒・落下・移動が発生すると、以下の「3つの危険」が生じる可能性があります。

① ケガ

近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

② 火災

転倒・落下した家具などが電気ストーブなどの電熱系機器を押し、付近の燃えやすいものに着火するなどして火災が発生することがあります。

③ 避難障害

避難通路、出入口周辺に転倒、移動しやすい家具類を置くことで、避難経路を阻害したり、引き出しが飛び出すことで、つまづいてケガをしたり、避難の妨げになることがあります。

ケガ、火災、避難障害の「3つの危険」から自分たちの身を守るためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。